

地域密着、身近な話題を体験取材!

まちかど

特派員だより

市民が楽しむ国際交流

「あげおワールドフェア」

上尾市の人口は23万人を超え、市内で暮らす外国人も年々増加しています。国際交流で多文化を知り、気軽に市民交流が楽しめるイベントに参加したので紹介します。

参加したのは、昨年12月4日、コロナ禍で3年ぶりに文化センターで開催された、あげおワールドフェアです。主催の上尾市国際交流協会（AGA）の会長、関本正弘さんは「ワールドフェアは文化的な背景の異なる市民が、お互いに交流を深めることを目的に開催しています」と話しました。ステージでは各国の歌や踊りが披露され、屋外には国際色豊かなキッチンカーが並び、多彩な料理を味わうことができました。各国・地域の文化を紹介する展示・物販では、珍しい国の言葉

どもたちが各国の遊びに触れられるキッズスポットもありました。

市のブースでは、市が行っている子どもたちの英語力を高めるための活動を紹介する展示や、楽しく英語に触れるコーナーもありました。今回は、英語で書いて作るクリスマスカードのコーナー。外国語指導助手（ALT）がカード作りを手伝っていました。今回のワールドフェアで紹介された国・地域の数は21。AGAは発足して26年になります。たくさんの国について



A L Tの先生たち



クリスマスカード



大谷地区

高橋 麻里さん

知り、積極的に市民交流を図ることで、自らの価値観も広がり、多様な文化や考え方に触れることで自分の住む日本の良さを再発見したり地域の課題を見出したりすることができると感じました。さまざまな国の人とコミュニケーションを楽しむことや多くの地域で使われている英語による会話を子どもたちと楽しむことに家庭でチャレンジして、暮らしの中で国際交流を楽しみましょう!

市民の情報交流スポット

アッピーNET

広報広聴課 ☎775-4918・☎776-8873

アッピーNET掲載団体募集

アッピーNETは市民の皆さんの交流の場として、催しなどへの参加者募集「おいでください」と、各団体のサークル会員募集「いきいきサークル」を掲載しています。観客を増やしたい・会員数を増やしたい団体は気軽に申し込んでください。申し込み方法など、詳しくは市ホームページをご覧ください。



おいでください

■フォトクラブたちばな第21回写真展
3月25日(土)～4月7日(金)9:00～17:00(7日は16:00まで)、自然学習館 ☎三栄☎726-8109 **ひと言!** 四季の花を自然のままに美しくファンタジーに撮影。

いきいきサークル

●橘ダンス愛好会 毎週(土)10:00～12:00、平方公民館 ☎月額1,000円(入会金1,000円) ☎波田野☎080-5460-2089 **ひと言!** 基本から指導。無料体験あり。男性歓迎。見学可。

●健康太極拳「天天」 毎週(水)15:00～16:30、コミュニティセンター ☎月額3,000円(入会金3,000円) ☎五十嵐☎725-7328(19:00まで) **ひと言!** ゆったりとした動き、深い呼吸、心も体も柔らかく。

●川柳・高鶴会 毎月第3(火)13:00～16:00、大谷公民館 ☎月額2,000円 ☎高木☎080-1208-7122 **ひと言!** 気分は川柳作家!人間を詠んでみませんか。

●フォークギター・フレッツ9 毎月第1・3(土)9:45～11:45、原市集会所 ☎月額2,000円(入会金1,000円) ☎武井☎090-1465-8932 **ひと言!** 始動一年余り、講師より丁寧なご指導有。初心者大歓迎。

●れんげそうの会(美文字) 毎月2回(金)9:30～11:30、上尾公民館・文化センター ☎初心者 ☎月額2,000円 ☎進藤☎775-3999(19:00まで) **ひと言!** 基礎から始める筆ペン・ボールペン習字。



定…定員 ☎…対象 ☎…費用 当日…当日、直接会場へ 申…申し込み



患者の歯科技工物を作る中川さん

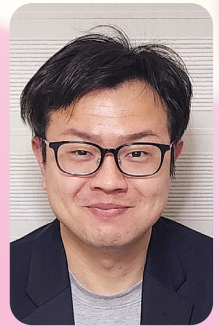
「聞こえないからこそ、持っている力があります」。優しい表情を見せるのは、歯科技工士として活躍し、3月23日(木)からフランスで行われる国際アビリンピックに出場する中川直樹さんです。アビリンピック(障害者技能競技大会)とは、障害のある人が自らの職業技能を競うとともに、企業や一般の人に障害のある人への理解を深めてもらうことで、雇用促進を図ることを目的に行われている大会です。4年に一度国際大会が開催され、その年を除き、毎年各地で全国大会が行われています。

中川さんは1歳のときに聴覚障害だと分かりました。小さい頃から手先が器用で、物を作ることや絵を描くことが好きだった中川さん。大学付属のろう学校歯科技工課に進学し、一人一人の歯の形や大きさに合わせる技工の奥深さに触れるうちに、仕事として取り組みたいと思うようになりまし。国家資格の歯科技工士の免許を取得し、現在は歯科技工所で医師からの指示書に従って日々、技工物を作っています。仕事のやりがいは、患者の笑顔や感謝の言葉に触れることです。「本物の歯に近づけるための努力が自分で楽しいし、人に感謝されると本当にうれしい」と笑顔を見せました。

初めてアビリンピックに出場したのは平成20年の千

スポットライト

～人・仲間～



なかがわ
中川
なおき
直樹
さん
(今泉在住)

集中力を武器に、挑戦を楽しむ

～第10回国際アビリンピック日本代表歯科技工士～

葉大会。母校の教員からの紹介がきっかけでした。技能を競うという体験に「人に負けたくない」という競争心が芽生えました。その大会では思うような結果は出ませんでした。技術を磨き続け、平成29年の栃木大会で銀賞を、その翌年の沖縄大会では金賞を受賞しました。

座右の銘は「艱難汝を玉にす」。「悩みを抱えても立ち向かっていきたい。挑戦を楽しむことで人間性を磨き、人生を充実させたいです」と力強く語る中川さんの次なる挑戦は国際アビリンピック。沖縄大会で金賞を受賞したことで次の選考に進み、見事に日本代表の座を射止めた。普段から目で情報を集めているので、周りの変化を捉える力、集中力には自信があります。日ごろからお世話になっている職場の上司や同僚のためにもフランスでは持てる力を発揮したいです」と意欲を燃やします。

競技から中川さんが得たのは、技工への深い自信と、仲間との交流を経て広がった視野だそうです。本業で活躍する傍ら、聴覚障害への理解を広めるため、聴覚障害者協会の役員として手話通訳の養成にも精力的に携わるようになりました。挑戦を楽しむ中川さんの舞台が今、大きく切り開かれています。



中川さんに寄せられた応援メッセージ

読者の声

「クイズ アッピーを探そう!」(2ページ参照)で寄せられた『広報あげお』への感想・意見を紹介します。今月は2月号です。

⇒ 広報広聴課 ☎775-4918・☎776-8873 ※内容は一部要約しています。

表紙 いちごを楽しむ子どもたち

- 「いちご一笑」に思わず笑ってしまいました。私も孫を連れていちご狩りに行きたくなりました。(80代)
- 子どもたちの笑顔がかわいいですね。(50代)

いちごのシーズンは春までです。ぜひ上尾のいちごを食べてみてください。



小学校給食レシピ

- レシピを見るのが楽しみです。どんなメニューなのか関心があります。(60代)
- 毎号小学校給食レシピを楽しみにしています。参考にして作ることもあります。(60代)

市内の全ての小学校では給食の自校調理をしています。地元の食材を使うなど、上尾らしい給食を提供しています。



『広報あげお』は、読者の皆さんの感想を参考にし、より良い誌面作りを目指しています。これからも皆さんの感想をお寄せください。

